

事務事業評価表（平成26年度）

事業コード	2091	課コード	0703	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策 □經常 □なし
-------	------	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)														
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	若い世代の住宅取得支援		実施計画への位置づけ	○有 ○無		②部課名	都市部・建築住宅課					
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市								
	⑤事業期間	平成26年度 ~			⑥担当職員数	3人 (換算人数)		0.29人						
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	40,000千円		当該(開始)年度	(当初)	42,697千円 (うち人件費 2,697千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)				
	⑧施策の位置づけ	施策コード	64002	重点プロジェクトへの位置づけ	重点3		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ○無		部門別計画への位置づけ (計画名)				
(2) 目的	施策目的・展開方向	住生活に対する市民の多様なニーズに対応するため、住まいにかかわる相談窓口や総合的な情報提供を充実するとともに、住宅リフォームや耐震診断、高齢者や障害者のためのバリアフリー化などの支援を進めます。また、市内への定住化を進めるために必要な住宅支援制度の充実を図ります。			事業目的	若い世代や子育て世代の住宅取得に対する補助を行い、若い世代の市外からの転入や市内での定住化を促進する。また親子の近居や同居を支援する。								
(3) 事業内容	内容	若い世代が市内に住宅を購入して転入してきた場合や、市内の賃貸に住んでいる若い世代が市内で住宅を購入した場合に補助金を支給する。 次の場合は補助金を加算する。 ・子どもがいる場合 ・取得者またはその配偶者の親が市内に居住していた場合 ・市内東側地区の住宅を取得した場合 ・市外からの転入			当該年度執行計画	・要綱制定 ・広報、ホームページ、市内外の不動産業者への依頼等による制度周知 ・交付申請受付 ・補助金申請等事務								
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)			指標種類	指標		単位	件	想定値	200			
当該(開始)年度	制度が周知され、多くの人に活用される。				間接	交付申請数		件		0	200			
3年後	制度の周知と活用が進む。				間接	交付申請数		件		0	200			
最終(概ね5年後)	我孫子市のイメージアップに貢献し、定住化が促進される。				間接	交付申請数		件		0	200			
(7) 事業実施上の課題と対応					代替案検討	○有 ●無								
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成25年度		平成26年度			平成27年度		平成28年度					
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	実績値(千円)	政策	内容	金額(千円)			
					* 住宅取得補助金		40,000		* 住宅取得補助金		40,000	* 住宅取得補助金	40,000	
		予算(済)額		合計	0	合計	40,000	合計	40,000	合計	40,000			
		国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	50%	20,000	補助率	50%	20,000	補助率	50%	20,000
		県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0
		起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0
		一般財源		0		20,000		20,000		0		20,000		20,000
		その他の財源	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0
		換算人数(人)		0		0.29		0		0		0		0
正職員人件費		0		2,697		0		0		0		0		
嘱託職員報酬額		0		0		0		0		0		0		
臨時職員賃金額		0		0		0		0		0		0		
事業費(予算(済)額+正職員人件費)		0		42,697		40,000		40,000		40,000		40,000		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		0千円/**		213.49千円/件										

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	我孫子市の人口が減少傾向にあり、特に若い世代の定住化を促進したい。また、「我・孫・子 3世代で暮らせる湖畔のまち」を前面に打ち出してアピールしていくとしたら親子の近居や同居を支援する必要がある。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 周知のために不動産事業者などに協力してもらった。						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (件)	目標値(b) (件)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		○①目標値達成 ○②目標値未達成		
	0	200	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f) (件) 達成率(%) (f/b×100)		<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	■①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 □②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g) (千円) 対事業費(%) (g/c)×100		事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	事業費削減率(%)		<削減の内容>		<超過理由等>				
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		
	0.47	単位 費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h) 対目標値(%) (h/e)×100		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善案及び展開方向					